

- む ずかしいことも、
- む き合う、
- む くぎ太一。



広島市議会議員 **むくぎ 太一**

新聞 Vol.6

一刻も早い事実関係の解明を望んでおります。改めて申し上げますと、この買収事件に関し、私自身、現金等の受領は一切ございません。検察・

警察当局による事情聴取等も一切受けておりません。この点について、皆様にご承知いただけたらと思います。一方で、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、この事件の影響もあり、安佐南区の皆様のご意見・ご要望が国政に届きにくくなっております。この

地域を覆う重苦しい空気を一扫できず、広島市議会議員として忸怩たる思いにさいなまれております。そうした中、広島市議会議員に選出されて1年が経ち、新会派を結成して新たに前進するという考えに至りました。会派名「広島新生クラブ」には、「広島を新しく生まれ変わらせる」「広島が新しく生まれ変わる」という思いを込めました。そして、結成から4か月が経とうとしています。前述のとおり、この地域では「政治的機能不全」に近い状況が続いています。ふるさと・広島への誇り、政治への信頼を取り戻すため、広島市議会議員として何をすべきか、何ができるか。この根源的な問いに、日々、自問自答しています。まだ明確な答えができません。しかし、このような苦境時に、ひたすら広島市民の皆様のために汗を流して参りますので、よろしく願います。

広島市議会議員・むくぎ太一は、7月1日をもって、市議会における**(1)会派**「広島新生クラブ」(ひろしま・しんせい・くらぶ)を結成いたしました。つきましては、結成理由や会派名に込めた思いなどを説明したいと思います。

広島を新しく生まれ変わらせる決意を込めて

『新会派「広島新生クラブ」結成』



元新聞記者の視点で地域の課題をピックアップします



新会派結成の記者会見で抱負を語るむくぎ太一

(1)~(5)は P4の Q&Aで 解説しています。

Q.1 会派とは何ですか? (P1)

市議会において、ともに活動するグループのことです。政策や政治理念などを同じくする議員の集合体とも言えます。会派は1人でも結成可能で、「1人会派」と呼ばれます。広島市議会には、私の「広島新生クラブ」を含めて、3つの「1人会派」があります(9月30日現在)。

Q.2 どのような悩みのタネがありますか? (P3)

ごみボックスの容積が不足し、ごみを捨てられなくなる場合があります。この場合、個別に業者に収集を頼んだり、近隣住民でごみボックスを購入したりする必要に迫られます。行政サービスは地域で差が出ることは望ましくなく、無料貸与制度を活用してもらえたらと思います。

Q.4 「85デシベル」の根拠を教えてください(P3)

広島県の「拡声機による暴騒音の規制に関する条例」で規制されるのが85デシベル以上の騒音となっていることを参考に、広島市も「85デシベル」を目安にしています。85デシベルは、おおむね、パチンコ店内の音量に相当するということです。

Q&A

広島市政に関連する質問にむくぎ太一がお答えします。

今回はそれぞれの話題に出てくる言葉や事柄を掘り下げて説明します。



Q.3 「ごみニティ」活動支援事業を教えてください(P3)

「ごみ収集枠」等の無料貸与制度のほか、ごみボックスの購入費用の補助(5万円限度)も行っています。また、道路を占拠しているごみボックスの撤去・移設を促進する事業や、地域の美化活動に携わる「地域環境指導員」の研修を行う事業などを行っています。

Q.5 「平和推進に関する条例(仮称)」とは何ですか? (P3)

広島市の平和行政の基本理念を示すものです。今年度内の成立に向け、各会派の代表による政策立案検討会議で条例案づくりが進んでいます。成立すれば、広島市議会初の議員提案による平和条例となります。「平和記念日」という条項で「8月6日」の在り方を示すことが目玉です。

むくぎ 太一事務所

〒731-0138 広島市安佐南区祇園1丁目4-5
TEL 082-846-5450 / FAX 082-846-5451
<http://www.taici.jp>



この市政報告は、広島新生クラブの承認を得て発行しています。

プロフィール

椋木 太一(むくぎ・たいち)
1975年(昭和50年)7月28日生 広島市安佐南区出身
元読売新聞記者 自由民主党安佐南支部長
広島県立安古市高校、早稲田大学政治経済学部卒業
広島市議会総務委員会、都市活性化特別委員会
政策立案検討会議メンバー



ごみ収集枠の活用事例(安佐南区川内)

「ごみステーション 無料貸与制度」

急激な宅地化で、ごみボックスが不足したり手狭になったりすることが、地域の「**ごみタネ**」になっていきます。広島市では、「ごみ問題」に対応すべく、「ごみ収集枠」、「防水シート」、「ガラスよけネット」を無料で貸与しています。貸与の対象は、近隣10世帯以上の任意団体です。宅地造成が盛んな安佐南区川内では、「ごみ収集枠」の貸与を受けて、ごみ問題を解決したケースがあります(写真参照)。

5つの政策

私は、5つの政策を打ち出して選挙に臨みました。これは、「4年間の任期で一定の成果を挙げます」と有権者の皆様と約束したことです。

- 1. 子育て支援・人材育成
- 2. 道路などのインフラ整備を推進
- 3. 防災・減災
- 4. 「カラーバリアフリー」の推進
- 5. 広島市政改革・メディア戦略

※は今回のテーマとしている政策です。

「大規模小学校の過密化改善策」

広島市安佐南区の宅地化が進む地域の小学校で、児童数増加で教室不足が生じたり、グラウンドが手狭になったりするといった教育環境の悪化が深刻となっています。いわゆる、「大規模校の過密化」問題です。

私は2019年10月の決算特別委員会で、「大規模小学校の適正規模」をテーマに質疑しました。この特別委員会の委員長報告において、教育環境改善に向けて

「隣接校で児童を受け入れるなど、柔軟な対応を検討すること」という要望が盛り込まれました。そしてこのたび、この要望に沿う形で、広島市教育委員会が、大規模小学校の過密化改善策を打ち出しました。まず、学校制度などの前提事項を説明します。「大規模校」とは、文部科学省の定義で「普通学級が31以上ある学校」となります。また、入学できる学校は住所で指定されます(指定学校「と言います」)。ただし、この指定学校は、「指定学校変更許可基準」に沿って申請すれば、変更が認められます。この基準は、①転居予定②年度途中の転居③下校後に保護者が不在④特別支援学級入級ーなど、8つあります。

このたびの過密化改善策は、「隣接校に入学したいため」という変更許可基準を新設することが目玉です。この新基準は、転居予定といった物理的な条件などは求められず、保護者、児童の希望があれば指定学校の変更を認めるものです。この基準を加えることで隣接校への分散を促進し、大規模校の過密化を抑制することを狙います。この新基準が適用されるのは、①**祇園**

この貸与制度は、**(3)「ごみステーション」活動支援事業**の一つです。「ごみステーション」と「コミュニティ」との造語で、近隣住民がごみを通じて「コミュニティ」を築き、地域の絆が深まればーという思いが込められています。

<問い合わせ先>

- 安佐南環境事業所
～無料貸与と制度について～
082-848-3320
- 安佐南区役所維持管理課
～ごみ集積所改善について～
082-831-4957

「平和記念式典 デモ騒音問題」

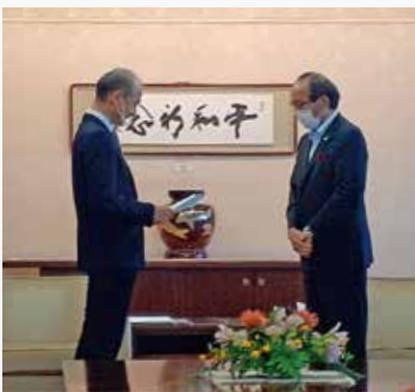
8月6日の平和記念式典で、デモ団体による拡声機の騒音が、式典の静謐な環境を脅かしているとして問題となっています。

この件に関し、被爆2世をはじめとする有志の皆様による「静かな8月6日」を願う広島市民の会が発足しました。9月14日には、松井一貫・広島市長に要望書を、広島市議会の山田春男議長に陳情書をそれぞれ手渡しました。条例制定や

②**山本**③**春日野**④**川内**⑤**伴**⑥**井口**(西区)の6小学校が指定学校となっている、2021年度以降の新入学生となります。対象となる大規模校の選定は、宅地造成や人口統計などを基に推定した将来の児童数や、空き教室の有無などを基に行われています。左記6校は、学区内で大規模な宅地造成が進んでいる、すでに空き教室がなく増設を迫られているといった緊急性の高い学校となっています。

指定学校	入学することができる学校
祇園小学校 山本小学校 春日野小学校	三篠小学校 己斐上小学校 古市小学校 大町小学校 安小学校 安西小学校 長束小学校 原小学校 伴東小学校 大塚小学校 緑井小学校 中筋小学校 古市小学校 梅林小学校 口田東小学校 口田小学校
川内小学校	安北小学校 安西小学校 伴東小学校 大塚小学校 伴南小学校 石内小学校 藤の木小学校
伴小学校	鈴が峰小学校 井口明神小学校 井口台小学校 五日市東小学校 五日市南小学校
井口小学校	

広島市教委は、来年度の新入学生の保護者に手紙等でこの制度を通知するほか、就学前健康診断や各幼稚園・保育園等を通じて周知を図ります。6小学校から入学可能な学校の一覧を掲載しておりますのでご参照ください。ただ、この新基準で過密化対策が万事解決するとは思っておりません。実際、選定された6校以外にも、児童数が1000人超のマンモス校があります。教育環境を抜本的に改善するには、学校を新設したり校舎を増築したりすることが手っ取り早い方策といえます。しかし、予算や敷地には限りがあります。子どもたちのため、有限の資源で最大の効果を出すため、皆様のご意見をお寄せいただけたらと思います。



松井一貫・広島市長(右)に要望書を手渡す石川勝也・市民の会代表

平和記念式典・平和記念公園に静かな環境を確保することを求めています。広島市とデモ団体は今年3月、式典中の拡声機の音量を**(4)「85デシベル」**以下にすると取り決めました。しかし、9月24日の広島市議会総務委員会において、今年の式典中に計測した8か所中7か所、この音量を超えていたことが明らかになりました。8月6日は広島市民にとって特別な日です。式典中の騒音で犠牲者を冒さくされることを甘受するわけにはいきませぬ。広島市議会では現在、広島市の平和行政の「憲法」とも言つべき**(5)「平和推進に関する条例(仮称)」**の策定を進めています。8月6日を、静かに犠牲者の霊を慰め、世界の恒久平和を願う日になすべく、引き続き取り組んで参ります。

「おくやみ申し上げます」

土井哲男・元広島市議会副議長が去る9月12日、85歳で御逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

故土井哲男先生は1986年の広島市議選で初当選され、祇園地区を地盤に9期務められました。2009年10月には第97代副議長に就任し、広島市の発展に御尽力されました。改めて、故土井哲男先生の御功績に尊敬の念と感謝の意を捧げます。

2019年の広島市議選において、土井哲男先生の後を継ぐ形で市政に送り出していたいただきました。故土井哲男先生から継いだ志を胸に、広島市の発展に尽くして参ります。



2019年広島市議選に向けて握手する故土井哲男先生(右)とむくぎ太一